

2008 年京大理甲 [3] 文 [2] 共通

(解答 1)

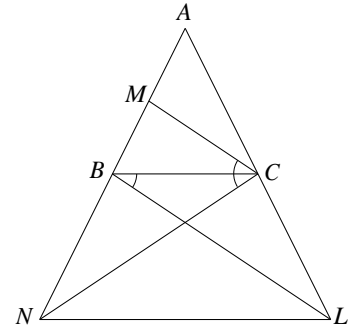
右図の通り、 AC の延長上にも、 $AL:LC=2:1$ となるように、点 L をとる。

対称性から、 $AB:BN=1:1$ であり、 $AC:CL=1:1$ である。

$AM:MB=1:1$ であるから、 $MC \parallel BL$ である。

したがって、 $\angle BCM = \angle CBL$ がわかる。

対称性から $\angle BCN = \angle CBL$ であるから $\therefore \angle BCM = \angle BCN$ (証明終)



(解答 2)

$\overrightarrow{CM} = \frac{1}{2}\overrightarrow{AB} - \overrightarrow{AC}$, $\overrightarrow{CN} = 2\overrightarrow{AB} - \overrightarrow{AC}$ である。 $|\overrightarrow{AB}| = |\overrightarrow{AC}| = l$, $\angle BAC = \theta$ とすると

$$|\overrightarrow{CM}|^2 = \frac{1}{4}|\overrightarrow{AB}|^2 - \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} + |\overrightarrow{AC}|^2 = \frac{1}{4}l^2 - l^2 \cos \theta + l^2 = \left(\frac{5}{4} - \cos \theta\right)l^2$$

$$|\overrightarrow{CN}|^2 = 4|\overrightarrow{AB}|^2 - 4\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} + |\overrightarrow{AC}|^2 = 4l^2 - 4l^2 \cos \theta + l^2 = (5 - 4 \cos \theta)l^2$$

$$\therefore |\overrightarrow{CN}|^2 = 4|\overrightarrow{CM}|^2 \quad \therefore |\overrightarrow{CN}| = 2|\overrightarrow{CM}|$$

したがって、 $MB:BN = CM:CN = 1:2$ であるから $\therefore \angle BCM = \angle BCN$ (証明終)

2008 年京大理乙 ③

O を通る 4 直線 の 方向ベクトル を、 $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}$ とする。

これらのうち、どの 3 つも同一平面上になく、一次独立であるから、 $\vec{d} = p\vec{a} + q\vec{b} + r\vec{c}$ と表せる。

4 直線と O 以外で交差する平面の各交点を、 $\vec{OA} = s\vec{a}, \vec{OB} = t\vec{b}, \vec{OC} = u\vec{c}, \vec{OD} = v\vec{d}$ とおく。

このとき、 $\vec{AB} = \vec{CD}$ となることがあるか、調べる。

$$\vec{AB} = \vec{OB} - \vec{OA} = -s\vec{a} + t\vec{b} \quad \text{---①} \quad \vec{CD} = \vec{OD} - \vec{OC} = pv\vec{a} + qv\vec{b} + (rv - u)\vec{c} \quad \text{---②}$$

ベクトルの一意性より、①と②の係数を比較すると

$$s = -pv \quad \text{---③} \quad t = qv \quad \text{---④} \quad u = rv \quad \text{---⑤}$$

0 ではない実数 v を適当にとったとき、③、④、⑤によって s, t, u を定めれば、 $\vec{AB} = \vec{CD}$ が成立する。

このとき、4 点 A, B, C, D は同一平面上にあり、なおかつ四角形 $ABDC$ は平行四辺形である。

以上により示された。(証明終)